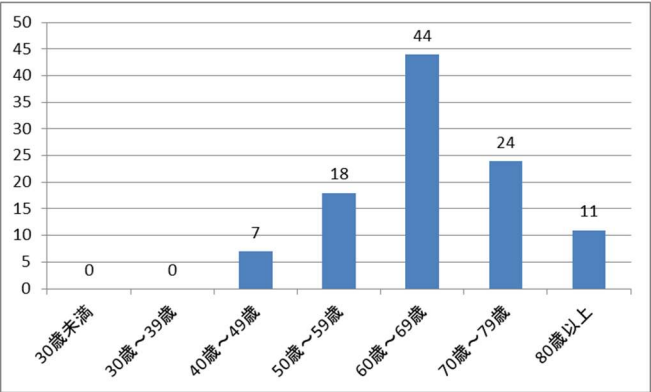
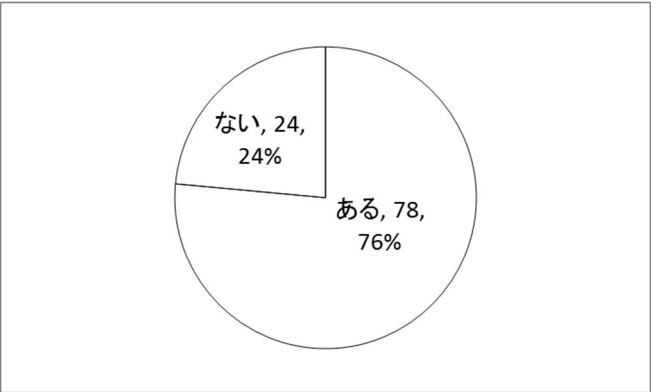


三川地区

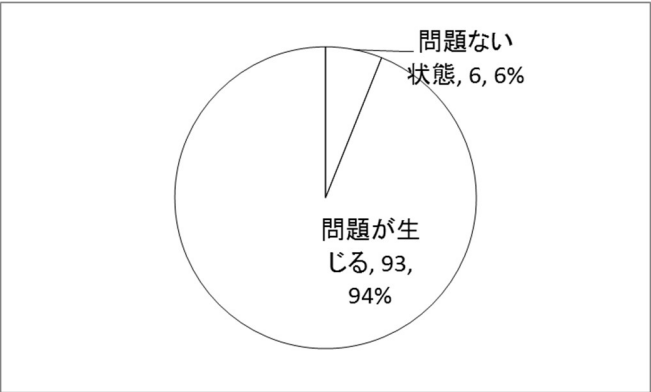
回答年齢



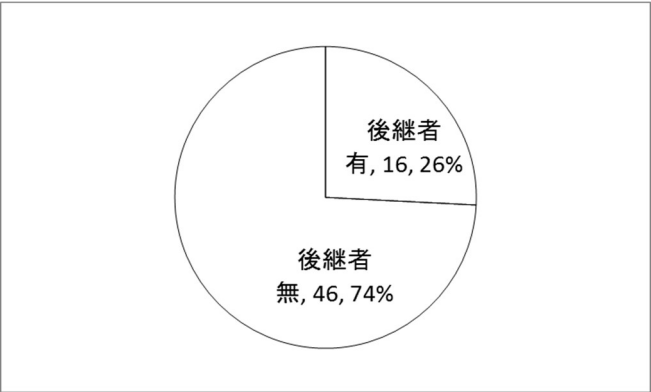
Q2-1 所有農地について
耕作を依頼している土地がありますか。



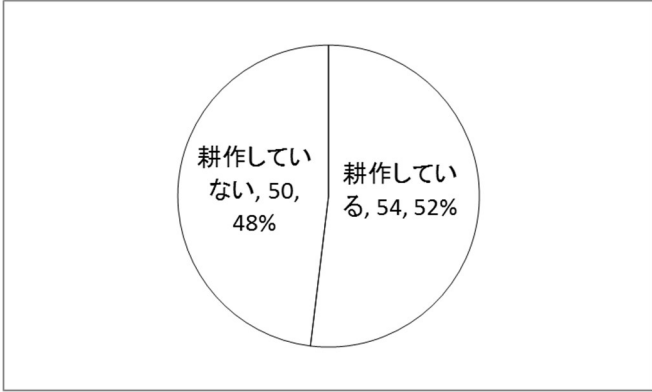
Q5-1 あなたの地域の農業（人と農地）は10年後にどのようなになっていると思われますか。



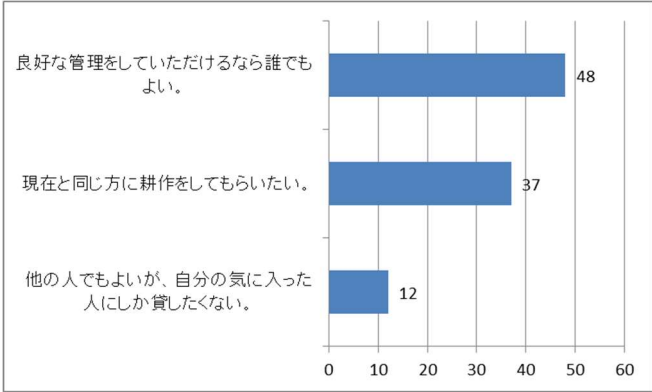
Q7-1 後継者の有無



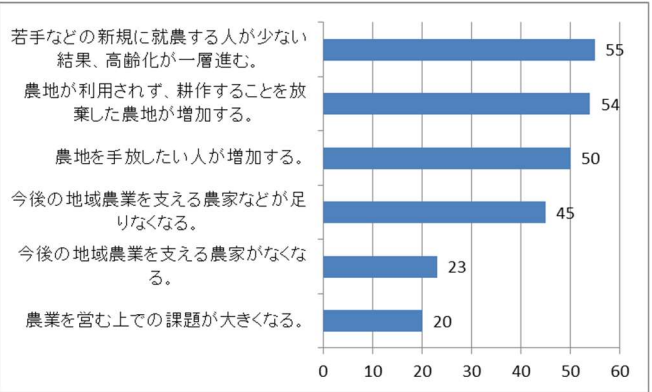
Q1 ご自身の営農状況について
現在、ご自身で耕作していますか。



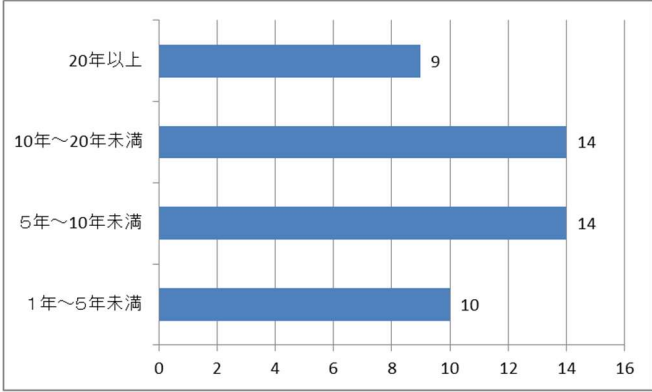
Q2-2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。



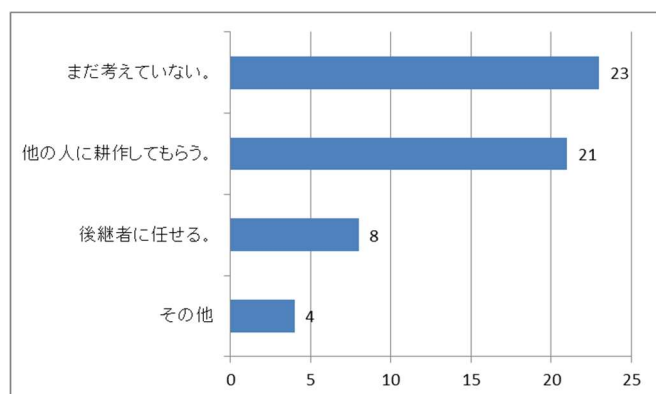
Q5-2 問題と思われる課題



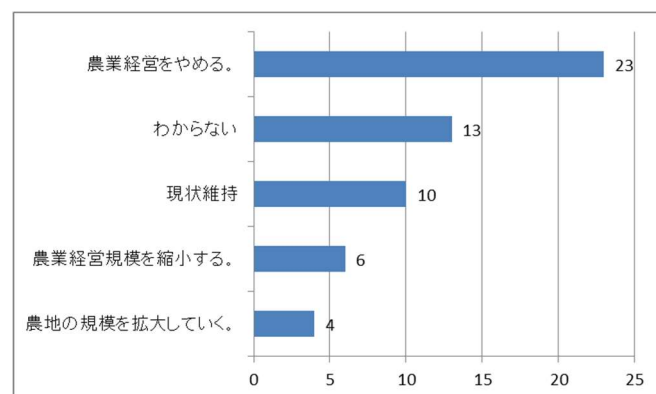
Q7-2 あと何年耕作を続けると思いますか。



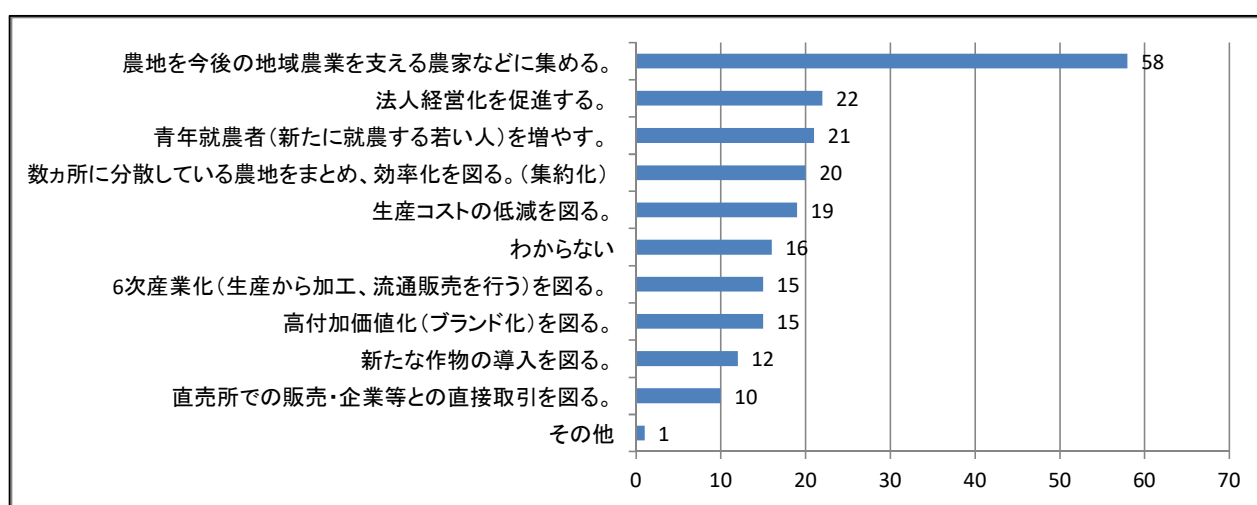
Q7-3 今後、耕作を続けられなくなった場合
どうしますか。



Q9 今後（10年後）のあなた自身の経営方
針を教えてください。



Q10 今後の（10年後）の地域農業について、どのような取り組みを行い、発展させていく必要
があると思いますか。



三川地区農業推進委員会 アンケート結果

【対象者】 261人

【回答者】 118人

【性別】 男性 94人 女性 12人

【耕作地】 三川地区 94人 袋井東地区 2人 袋井北地区 2人
今井地区 1人 山梨・宇刈地区 1人 浅羽南地区 1人

【職業】 専業農業者 42人 兼業農業者（会社員）20人
兼業農業者（自営業）19人 農業以外 40人

【年齢】 30歳未満 0人 30歳～39歳 0人 40歳～49歳 7人
50歳～59歳 18人 60歳～69歳 44人 70歳～79歳 24人
80歳以上 11人

【耕作面積】 ①未耕作 34人 ②10,000㎡未満 35人
③10,000㎡～20,000㎡ 9人 ④20,000㎡～30,000㎡ 6人
⑤30,000㎡～50,000㎡ 4人 ⑥50,000㎡以上 14人

【設問1】ご自身の営農状況について

1 現在、ご自身で耕作していますか。

耕作している 54人 耕作していない 50人

【設問2】所有農地について

1 耕作を依頼している土地がありますか。

ある 78人 ない 24人

2 今後、集約化にあたり借り手を変更する場合どのように思いますか。

① 現在と同じ方に耕作をしてもらいたい。 37人

② 他の人でもよいが、自分の気に入った人にしか貸したくない。 12人

③ 良好な管理をしていただけるなら誰でもよい。 48人

【設問 3】 今後、所有している農地について、どのように考えておられますか。(未耕作者)

- | | |
|---------------------|-----|
| ① 今後も農地として、耕作してもらう。 | 44人 |
| ② 農地以外の用途に利用していく。 | 2人 |
| ③ その他 | 9人 |

【設問 4】 集約化に向けた課題 地域内で年貢、小作料の統一が必要か

- | | |
|---|-----|
| ① 統一すべき (例 10a 当たり 10,000 円) | 35人 |
| ② 統一すべき (面積割 (例) 20a 以上 10,000 円、10a～20a8,000 円、
左記以外 5,000 円) | 14人 |
| ③ 農地等の条件が違うため、統一はできない。 | 40人 |
| ④ その他 | 8人 |

【設問 5】 あなたの地域の農業 (人と農地) は 10 年後にどのようなになっていると思いますか。

- 1 問題ない状態 (各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている) 6人
- 2 問題が生じる。

(問題と思われる課題を回答してください[複数回答可])

- | | |
|---------------------------------|-----|
| ① 農地が利用されず、耕作することを放棄した農地が増加する。 | 54人 |
| ② 今後の地域農業を支える農家がなくなる。 | 23人 |
| ③ 今後の地域農業を支える農家などが足りなくなる。 | 45人 |
| ④ 若手などの新規に就農する人が少ない結果、高齢化が一層進む。 | 55人 |
| ⑤ 農地を手放したい人が増加する。 | 50人 |
| ⑥ 農業を営む上での課題が大きくなる。(例：近隣からの苦情等) | 20人 |

【設問６】耕作することが困難となった場合 貸出方法（複数回答可）】農地を貸し出すことになった場合について、どのような方法が良いと考えていますか。

- ① 貸し手と借り手相対で行う。（利用権設定事業） 49人
- ② 農地中間管理機構が仲介して行う。（農地中間管理事業） 59人

【設問７】耕作している方にお聞きします。現在、後継者の目処はついていませんか。

1 後継者の有無

- ① 有 16人
- ② 無 46人

2 あと何年耕作を続けるとお考えですか。

- 1年～5年未満 10人
- 5年～10年未満 14人
- 10年～20年未満 14人
- 20年以上 9人

3 今後、耕作を続けられなくなった場合はどうしますか。

- ① 後継者に任せる。 8人
- ② 他の人に耕作してもらう。 21人
- ③ まだ考えていない。 23人
- ④ その他 4人

【設問８】耕作している方にお聞きいたします。

現在、あなた自身の経営は、地域の中でどういう位置づけだと思いますか。 8人

- ① 地域の中心となる農家であり、今後も中心になると思う。 9人
- ② 地域の中心となる農家であるが、将来的には中心にならないと思う。 6人
- ③ 今は地域の中心となる農家ではないが、将来的には目指していく考え。 3人
- ④ 今は地域の中心となる農家ではなく、将来的にも考えていない。 37人

【設問 9】耕作している方にお聞きします。

今後（10 年後）のあなた自身の経営方針を教えてください。

- | | |
|-----------------|------|
| ① 農地の規模を拡大していく。 | 4 人 |
| ② 現状維持 | 10 人 |
| ③ 農業経営規模を縮小する。 | 6 人 |
| ④ 農業経営をやめる。 | 23 人 |
| ⑤ わからない。 | 13 人 |

Q 9 で規模を縮小する又は農業経営をやめると答えた方にお聞きします。

- | | |
|-----------------------------|------|
| ① 農地は今後も（貸すなど）農地として残していきたい。 | 15 人 |
| ② 農地以外の用途で活用したい。 | 12 人 |

【設問 10】今後の（10 年後）地域農業について、どのような取組を行い、発展させていく必要があると思いますか。〔複数回答可〕

- | | |
|------------------------------|------|
| ① 農地を今後の地域農業を支える農家などに集める。 | 58 人 |
| ② 数ヵ所に分散している農地をまとめ、効率化を図る。 | 20 人 |
| ③ 生産コストの低減を図る。 | 19 人 |
| ④ 新たな作物の導入を図る。 | 12 人 |
| ⑤ 直売所での販売・企業等との直接取引を図る。 | 10 人 |
| ⑥ 6 次産業化（生産から加工、流通販売を行う）を図る。 | 15 人 |
| ⑦ 高付加価値化（ブランド化）を図る。 | 15 人 |
| ⑧ 青年就農者（新たに就農する若い人）を増やす。 | 21 人 |
| ⑨ 法人経営化を促進する。 | 22 人 |
| ⑩ その他 | 1 人 |
| ⑪ わからない。 | 16 人 |

◎ご意見等

- ・ 土地改良はしてあるが、場所によって大型機械が入れない水田もあり、コストの軽減とか集積が難しい。
- ・ 若い従事者が必要。若い従事者を増やすのには仕事しやすい環境をつくっておくことが必要。
- ・ すでに取り組んでいる内容ではあるが、生産コストに対しては、機械代や人件費の高騰が心配である。（数年後）
- ・ 茶の栽培をしています。今の状況をみると生産調整は必須です。
- ・ 三川にも直売所を作ったらどうか？
- ・ その地域にあった農作物をその地域で消化（販売）する。
- ・ 農地を農業法人等に集約し、地域農業の維持を図っていく。そのためには、農地は個人的な資産でなく地域全体の共有地であると考えるように推進する。